

もっとよんでみる？

(★) マークはシリーズがある本です

	ほんのだいめい	かいたひと	しゅっぱんしゃ
少し小さい子	なにをたべたかわかる？	長 新太/作	絵本館
	うれしいさんかなしいさん	まつおか きょうこ/さく え	東京子ども図書館
	こわくないこわくない	内田 麟太郎/ぶん 大島 妙子/え	童心社
	てのひらおんどけい	浜口 哲一/ぶん 杉田 比呂美/え	福音館書店
少し大きい子	うんこ日記	村中 季衣/作 川端 誠/作	BL出版
	こねこのチョコレート	B.K.ウィルソン/作 小林 いづみ/訳 大社 玲子/絵	こぐま社
	ちゃんとたべなさい (★)	ケス グレイ/文 ニック シャラット/絵 よしがみ きょうた/訳	小峰書店
	ハンダのびっくりプレゼント (★)	アイリーン ブラウン/作 福本 友美子/訳	光村教育図書
大きい子	エゾオオカミ物語	あべ 弘土/作	講談社
	しげちゃん (★)	室井 滋/作 長谷川 義史/絵	金の星社
	火の話 (★)	黒田 征太郎/作	石風社
	百年の家	ロベルト インノチェンティ/絵 J.パトリック ルイス/作 長田 弘/訳	講談社
	プーさんとであった日	リンジー マティック/ぶん ソフィー ブラッコール/え 山口 文生/訳	評論社
むかしばなし	いそっぷのおはなし	いそっぷ/[原作] 降矢 なな/絵 木坂 涼/再話	グランママ社
	おにつばとうさん	沼野 正子/文 絵	福音館書店
	かえるの竹取ものがたり (★)	俵 万智/文 斎藤 隆夫/絵	福音館書店
	かえるをのんだととさん	日野 十成/再話 斎藤 隆夫/絵	福音館書店
	鹿よおれの兄弟よ	神沢 利子/作 G.D.バヴリーシン/絵	福音館書店
	ヤクーバとライオン (★)	ティエリー デデュー/作 柳田 邦男/訳	講談社
とほん・ しょかん	カエサルくんと本のおはなし	いけがみ しゅんいち/文 せきぐち よしみ/絵	福音館書店
	グーテンベルクのふしぎな機械	ジェイムズ ランフォード/作 千葉 茂樹/訳	あすなる書房
	トマス・ジェファソン	バーブ ローゼンストック/文 ジョン オブライエン/絵 渋谷 弘子/訳	さ・え・ら書房



『うちどくりスト あたらしいえほん』

平成31年3月31日 発行

編集：小郡市立図書館

<http://www.library-ogori.jp/>

〒838-0142 福岡県小郡市大板井136-1

電話：0942-72-4319

うちどくりスト あたらしいえほん



この30年で出版された オススメえほんのリスト

保護者の方へ

「家読（うちどく）」は「家庭での読書」の略語で、「朝読」（朝の読書の略）の家庭版として考えられたものです。家族で読書の習慣を共有し、本を介した家族間のコミュニケーションがはかれることを目的としています。

また、家庭でも本と親しむ時間をもたれることは、子どもの成長にとって大切な読書の習慣を身につけることにつながります。「家読（うちどく）」に、これといった決まりはありません。それぞれの家庭にあった方法で取り組んでください。

読解力が十分に育っていない子どもには、まわりの大人が読んであげることが、本を楽しむ一番の近道ですが、まずは、気軽に取り組めることから始めてみましょう。

小郡市立図書館

すこしちいさい子

「ぎゅっ」(★)

徳間書店



ジェズ
オールバラ／作
絵

オランウータンのジョジョはひとりでおさんぽちゆうです。まわりのどうぶつたちが「ぎゅっ」とだきあっているのを見て、ママがこいしくなってしまう。

「ちょっとだけまいご」(★)

B.L出版



クリス
ホートン／作
木坂涼／訳

ちびフクロウが木からおちて、まいごになってしまいました。やさしいリスがいっしょに“かあちゃん”をさがしてくれますが、なかなかみつかりません。

「ねこガム」

福音館書店



きむら
よしお／作

おとこのこがガムをふくらませています。ふうせんのかたちにくらむとおもったら、だんだんねこのかたちになってきて・・・?

おおきい子

「トマトさん」

福音館書店



田中
清代／さく

あついなつの日、まっかにうれたトマトさんがえだからおちました。おがわでおよぎたいけれど、からだがおもくてうごけません。トマトさんはなきだしてしまいます。

「むしとりにいこうよ!」(★)

ほるぷ出版



はた
こうじろう／作

おにいちゃんは虫とりめいじんです。いっしょにあるくと、いつものみちにも虫がいっぱい!! 虫をとりにいきたくなる本です。

「オニのサラリーマン」(★)

福音館書店



富安
陽子／文
大島
妙子／絵

オニガワラ・ケンは、じごくカンパニーではたらくお父さん。にんげんのサラリーマンとおなじように、しごとはいへんだし、時にはしっばいもするのです。

すこしおおきい子

「ハルばあちゃんの手」

福音館書店



山中
恒／文
木下
晋／絵

ハルは小さいときから手さきがきようでした。ハルがせいちょうし、おばあちゃんになるまでを、手をとおして、えがいたものがたりです。

「ふたりママの家で」

中川
亜紀子／訳
サウザン
ブックス社



パトリシア
ポラッコ
／絵
文

2人のママと、はだの色がちがう3人の子どもたちのおはなし。ほかのかぞくとは少しちがうけど、みんなでのしくくらしています。

「ホームランを打った
ことのない君に」

理論社

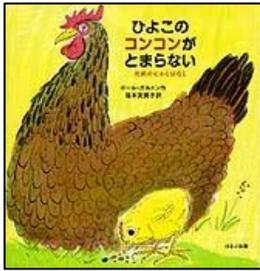


長谷川
集平／作

ホームランをうてるのは「神さまにえられた人だけだ」とあきらめるまえに、やれることはやろうときめたルイのおはなし。

むかしばなし・みんな

「ひよこのコンコンがとまらない」
北欧のむかしばなし



ほるぷ出版

ポール ガルドン / 作
福本 友美子 / 訳

ひよこのタッペンは大きいたねをのみこもうとしてコンコンがとまらなくなってしまいます。くりかえしがたのしいおはなしです。

「いたずら五にんぐみオチヨグニ」



キム ソンミ / 共訳
瑞雲舎

パク ヨンチョル / 文
星 あキラ / 共訳

オチヨグニたちは、いたずらしたばつとして、おそろしいおばけのゴンをたおすことをめいれいされます。5人はちえをしぼってたたかいますが……。

「むかしむかしとらとねこは…」
中国のむかし話より



福音館書店

大島 英太郎 / 文
絵

むかしトラはのろまでした。ネコはすばしこく、えものをつかまえるのがじょうずだったので、トラにそのわざをおしえますが……。

ことば・あそび

「オレ・ダレ」 (★)



講談社

越野 民雄 / 文
高島 純 / 絵

よる、いろんなどうぶつたちがくらやみのなかにいます。かげをみて、そのどうぶつが「ダレ」なのかあてましょう！

「これはすいへいせん」



金の星社

谷川 俊太郎 / ぶん
Tupera Tupera / え

「これはすいへいせん」からはじまるものがたり。ことばがどんどんつみかさなっていくのがたのしいえほんです。

「しりとりのだいすきなおうさま」



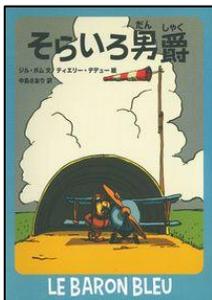
鈴木出版

中村 翔子 / 作
はた こうしろう / 絵

しりとりずきの王さまは、ゆうしょくもしりりりのじゅんにならんでないとおこります。こまったけらいたちは、王さまにおもしろいしかえしをします。

ほん・としょかん

「そらいろ男爵」

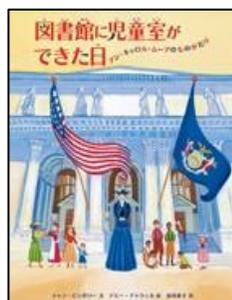


中島 さおり / 訳
主婦の友社

ジル ボム / 文
ティエリー デテュー / 絵

ひこうきのりのだんしゃくが、せんそうにいくことになりました。だんしゃくがてきにおとしたのは、ぼくだんではなくて、本でした。

「図書館に児童室ができた日」



張替 恵子 / 訳
徳間書店

ジャン デビー / 文
アトウエル / 絵

むかし子どもはとしょかんて本をかりることができませんでした。アンは子どものために、としょかに子どものへやをつくりまします。

「ほんなんてだいきらい！」

